



命を守る方法を知る！ 着衣泳 実施

昨日、日本赤十字社福島県支部の御支援をいただき、ブロックごとに着衣泳を実施しました。保護者の皆様には、衣服等の準備に御協力をいただき、ありがとうございました。

夏になると水の事故が相次ぎます。また、近年各地で大雨により河川が氾濫し甚大な被害が報告されています。不測の事態に備えて、自分の命を守る方法を知ることはとても大切です。今年度は、救急救命の専門的な知識と技能を持つ日赤の職員の方々に来校いただき着衣泳を体験しました。



授業では、服を着て水に入った感覚を体験するとともに、ペットボトルなどの身近なもので仰向けに浮く練習をしました。また、おぼれている人を見かけたら、自分で助けに行かない、大人に助けを求める、身近な浮きやすいものを投げ入れる、119番する、励ますなど、子どもたちが心がけておくことも教えていただきました。

○ 奉仕活動をより充実させるために



本校では、JRC活動の一環として、「奉仕の心」を育成するため、毎週火曜朝の時間にキッズ班による奉仕活動を位置づけています。これまで、班長が奉仕活動の内容を決め掲示板で班員に伝えていましたが、今年度から、奉仕活動の内容に班員の気づきを反映させようと、振り返りと次の月の計画を立てる

時間を設けました。この試みにより、活動への主体性が一層育まれることを期待しています。